

2025年7月20日

(朝 10:30-11:30)

## 聖 日 礼 拝

司会 城尾マコト

前 奏	全員黙祷 「新聖歌 23 番」	ヒムプレヤー
招 詞	創世記 7 章 16 節(新 8 頁)	司会者
頌 栄	「新聖歌 60 番」	ヒムプレヤー
主の祈り	(プログラムに印刷)	全 員
使徒信条	(プログラムに印刷)	全 員
交説文	新改訳 23 番 詩篇 66 篇 897 頁	司会者・全 員
聖 書	出エジプト 18 章 21~23 節(旧 100 頁)	司会者
讃美歌	新聖歌 206 飼い主わが主よ	ヒムプレヤー
祈 祷	司会者による祈り	
	子供達の祝福の為の賛美 484 番	ヒムプレヤー
讃美歌	新聖歌 428 キリストには代えられません	ヒムプレヤー
メッセージ	「備えなさい」	城尾淳一
讃美歌	新聖歌 303 安かれわが心よ	ヒムプレヤー
	証とお知らせの時間	
献 金	新聖歌 55 番	
頌 栄	新聖歌 63 番	
祝 祷		城尾マコト牧師
後 奏	全員黙祷 新聖歌 59 番	



Youtube



Facebook



HomePage

## 出エジプト記 18 章「備えなさい」

### イスラエルの荒野の旅と試練

神様に選ばれた預言者モーセによって、長い間エジプトで奴隸として虐げられていたイスラエルの民は救い出され、約束の地カナンへの旅路につきました。しかしこの旅はこの民を神様の民としてふさわしい者に育て上げるための厳しい訓練の旅でもあったのです。

### エテロとの再会と助言

そこにモーセの義父エテロが、妻チッポラと二人の子を連れて訪ねてきました。エテロはモーセから神様の御業について詳しく聞いて深く感動し、「主はあらゆる神々にまさって大いにいます」と賞賛しました。そしてアロンやイスラエルの長老たちと共に神の前に食事をしました。

翌日、エテロはモーセが朝から晩まで一人で民の様々な問題や事件を裁いている光景を目の当たりにして驚きました。民は途切れることなくモーセのもとにやってきて、モーセ一人がすべてを解決していました。

エテロはモーセに忠告しました。「これではいけない。いずれあなたも民も疲れ果ててしまう。有能で神様を恐れ、誠実で不正を働かない人を選び、千人の長、百人の長、五十人の長、十人の長を立てなさい。普段は彼らに民を裁かせて、あなたは大きな事件だけ裁くようにしなさい。」

これは実は革命的な組織運営ではありませんでした。100万人を超える大集団で、すべての問題にたった一人で対応しようとしているモーセの方が異常だったのです。モーセがあまりにも真面目すぎで「全部一人でやらなければ」と抱え込んでいたということです。

興味深いことに、今回モーセに助言をしたのは神様ではなく、異邦人のエテロでした。これは偶像崇拜をする人を通して、神様が組織運営の知恵を与えてくださったということです。大切なことを学ぶ素直で謙虚な気持ちが重要なのです。

### 神様との契約への準備段階

この出エジプト記 18 章は、次の 19 章で展開される神様との契約という靈的に極めて重大な出来事への備えの物語でした。エジプト脱出からカナンへの旅は、神様がイスラエルの民をご自身の聖なる民として整え、高い使命を託すための訓練の旅路だったのです。

やがてこの民は、神様の掟と律法を携え、この地上で神のご性質を現す使命を負うことになります。そのためには信仰だけでなく、秩序と責任をもって共に歩む力が必要でした。18 章はまさにその土台作りであり、19 章では靈的な清めと備えが始まります。神様のご計画は、靈と肉の両方にわたる全人格的な整えなのです。

### 個人的な備えへの問いかけ

イスラエルの民は「とにかく奴隸生活から解放されて生き延びられればそれでいい」と思っていたかもしれません。しかし神様は彼らを聖なる民として選び、契約を結び、使命を与えようとされました。

私たちも同様です。神様の恵みに預かることは覚悟のいることです。神様の戒めを守り、正しく生きなければならないという重責に、時として「大変だ」「できるかな」と不安になります。自分の中にある欲望、弱い意志、誘惑に負けてしまう心を見つめて葛藤します。

しかし神様は私たちの弱さをすべて知っていてくださいます。「大丈夫。わたしがあなたを選んだのだから、わたしが責任をもってあなたを導こう」と優しく語ってくださる方です。私たちが完全に整えきれなくても、主ご自身が整えてくださる。だから今日も、主に信頼して一歩ずつ歩んでいけるのです。

エテロの助言のように、神様は時として意外な人を通して知恵を与えてくださいます。謙虚に学び、一人で抱え込まず、神様に信頼して歩む。それが神の民としての真の備えなのです。

城尾淳一